

健康医療都市ひらかた コンソーシアム通信

Vol.31

【編集・発行】 枚方市 健康部 健康総務課 TEL: 072-841-1319 FAX: 072-841-2470
MAIL: kenkousoumu@city.hirakata.osaka.jp

平成 30 年(2018 年)
11 月発行

関西医科大学附属病院が災害医療訓練を実施

〜枚方市災害医療対策会議と連携〜

10月に関西医科大学附属病院が実施した災害医療訓練及び7月から9月にかけて実施した同院での事前研修会・机上訓練に、枚方市災害医療対策会議が連携の一環として見学・参加しました。これは、拠点病院の災害医療活動について理解を深め、地域の災害医療関係機関の課題を確認するとともに対応能力の向上を図ること、あわせて災害時医療救護活動を各機関が組織として効果的に展開することを目的に、連携を図るものです。

事前研修として、7月30日、8月2日にトリアージの方法をはじめ、災害用・医療搬送力ルテやクロナロジの書き方及び運用方法などの確認が、9月7日・11日には一連の流れとして机上訓練が実施されました。

10月20日には実践形式の災害医療訓練が行われ、通報・情報伝達訓練、災害対策本部・現場指揮所設置運用訓練により組織体制の構築が図られました。また、あわせて個人識別カードを活用した職員参集訓練や病院の人的被害・ライフライン・設備等物的被害把握訓練、空床の把握、アクシオンカードを用いた災害時開設部門（トリアージポスト・各ゾーン）の設営・傷病者受入訓練も行われ、大規模災害発生時の基本対応について確認する機会となりました。

今後も、大規模災害発生時ににおける災害医療体制の充実に向けて、災害医療対策会議と関係機関との連携・取り組みを進めます。



↑患者搬送訓練



↑現場指揮所の立上げ・運営訓練



↑各ゾーン運営訓練（事前研修）

神経難病対策医療ネットワーク部会主催研修会の開催

〜在宅療養患者の栄養・食事に関する支援とQOL〜

10月20日（土）に5つの講演を行い、医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど44人の参加がありました。

講演は、市内の開業医師や病院へのアンケート結果からみてきたこと、脳神経内科専門医の立場からの支援、歯科医師の立場から嚥下（えんげ）の評価と食事支援、栄養士の立場から嚥下の支援、訪問看護師の立場から在宅での食事支援と神経難病患者の摂食や嚥下について幅広い職種からの講演を行いました。その後の質問、講師との意見交換では大変活発に参加者から発言があり、地域で患者を支える多職種の連携の大切さを実感できました。



講演1 「在宅における栄養に関する支援調査を踏まえて」

講師：枚方市病院協会 会長 多田 正知氏

講演2 「在宅療養患者の栄養管理とQOL」

講師：関西医科大学附属病院 脳神経内科 助教 隠岐 光彬氏

講演3 「嚥下の評価と食事支援の現状」

講師：大阪府歯科医師会 理事 小谷 泰子氏

講演4 「嚥下が難しくなったときの食事支援」

講師：星ヶ丘医療センター 副栄養管理室長 東 由里氏

講演5 「在宅での食事支援の現状」

講師：枚方市訪問看護ステーション連絡会 峰 知子氏

*構成団体代表者異動のお知らせ

▽星ヶ丘医療センター（10月1日付）

中島 充（なかじまみつる）院長代行に代わり、新たに増山 理（ますやまとおる）院長が就任されました。



● 枚方市医師会「私らしく生ききるためのそなえ

～エンディングノートを書いてみませんか?～

9月1日(土)メセナひらかた6階大会議室にて実施。大阪府内科医会外山学副会長による講演を行い、143人が参加しました。エンディングノートのほか、実際に記載するための医療に関する知識も合せた内容。受講者全員に市医師会作成の枚方版エンディングノート「住み慣れた街で最期まで」が配付されました。

● 関西医科大学附属病院 市民公開講座「もつと知ってほしい!心不全のこと」～原因、予防、治療法について～

9月15日(土) 関西医科大学附属病院13階講堂にて103人が参加しました。同病院ハートセンターとの共催で実施。心不全とはどのような病気であるか、その治療方法や薬の飲み忘れ防止のコツ、食事を中心としたセルフケアの方法などが紹介されました。

講演1「『心不全』てなに?心不全の原因と個別管理について」
講師 循環器内科助教 諏訪 恵信 氏

講演2「手術で治る心不全」
講師 ハートセンターセンター長 川副 浩平 氏

講演3「心不全看護外来ってどんなところ?」
講師 看護部 慢性心不全看護認定看護師 大北 亜樹 氏

講演4「薬の飲み忘れで困っていませんか?心不全治療薬と上手に付き合おう」
講師 薬剤部 薬物療法指導薬剤師 田中 雅幸 氏

講演5「心不全と食事」セルフケアと食べる事の大切さ」
講師 栄養管理部 主任 吉内 佐和子 氏

● 枚方公済病院「健康フェア」

9月24日(月)アル・プラザ枚方にて延べ812人が参加しました。生き生きと暮らせる健康づくりをサポートするものとして、検査技師による血管年齢測定や看護師による糖尿病相談、血圧・体脂肪測定、認知症相談、認知症予防のための体操、栄養士による食事相談、ちびっこナーズ写真撮影会が行われました。



● 関西医科大学附属病院 市民公開講座「上肢の疾患、手外科の視点から」

10月21日(日) 関西医科大学附属病院13階講堂にて45人が参加しました。整形外科講師 浜田 佳孝先生による講演『どうして上肢(肩、肘、手)が痛くなるの?痛みやしびれの原因を理解しよう』、南川整形外科 作業療法士 大平 健二先生による講演『五十肩とはね指のお家でできる運動療法』のほか、質問コーナーや実技が行われました。

● 枚方市医師会 市民公開講座「めまい・ふらつきあれこれ」フタシのめまい…これ耳なん?脳ぢゃない?」

11月10日(土)に枚方市医師会館にて実施。第1部では、服部あたまクリニック 服部 伊太郎院長による講演、第2部では、来場者の健康問題についての個別相談を実施し、69人が参加しました。

台風24号の影響で中止となった催し(9月30日)

- 「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」
- 「あべ静江さんとAEDマンの“プロレスによるAEDの実演会”」
- 関西医科大学整形外科 第3回市民公開講座「どうして股関節が痛くなるの?人工関節って何?」
講師: 関西医大 整形外科 診療講師 大野 博史 氏



今後実施予定のコンソーシアム連携事業

日程	内容	場所	実施主体
12月6日(木) 14時～15時30分	◆健康サポート講演会 講演:「みんなが知りたい解熱・鎮痛薬の正しい使い方」 講師:枚方市薬剤師会 古池 祐土先生	保健センター 4階 健康講座室	枚方市保健センター 電話 072-840-7221
12月8日(土) 14時～16時	◆講演・報告「多剤耐性菌に対する院内感染対策のポイント」 講師:りんくう総合医療センター 医師 倭 正也 氏 報告:関西医大附属病院 感染管理認定看護師 大石 努 氏	関西医科大学附属 病院 13階講堂	枚方市病院協会 事務局 向山病院 医事課 電話 072-855-1246
12月9日(日) 11時～13時	◆関西医科大学整形外科 第5回市民公開講座「腰痛」 講師:関西医大 整形外科 助教 足立 崇 氏 関西医大附属病院 理学療法士	関西医科大学附属 病院 13階講堂	関西医科大学 整形外科科学講座 電話 072-804-0101